



令和4年7月14日
横浜市経済局産業連携推進課
(公財)木原記念横浜生命科学振興財団



2022年度 LIP. 横浜トライアル助成金 交付対象事業(11事業)が決定

「LIP.横浜トライアル助成金」は、健康・医療分野において、新製品や新技術の事業化を目指し、研究成果やアイデア等を具体化する試作品の開発などに活用いただける助成金です。

この度、中小企業、大学・医療機関等が取り組む事業を支援するため、11事業（交付予定額1,498万円）を交付対象事業として決定しました。

今後、LIP.横浜の会員などとのマッチングや販路開拓により、中小企業の支援を積極的に進め、イノベーション都市・横浜の実現につなげてまいります。

(※) 本事業は、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団が横浜市経済局の補助金を受けて運営する事業です。

【交付対象事業】

■中小企業が取り組む事業（4事業）

事業名	IoT バイクによる神経難病に特化した在宅リハビリシステムの開発				
事業内容	神経難病（パーキンソン病等）の進行抑制に有効な有酸素運動を在宅で安全に継続して行うため、遠隔モニタリング技術を備えた IoT バイクを開発する。				
申請者	株式会社 ALAN（栄区）	共同研究先	—	交付予定額	200 万円
事業名	世界初の転倒予防トータルソリューションにおける、テーラーメイド型転倒予防体操の開発				
事業内容	転倒リスクの計測から解決策までを一貫したソリューションの開発のため、自社開発の計測システム（Sta ² BLE）による転倒リスク因子の解析結果をもとにしたテーラーメイド型転倒予防体操の構築及びその実証を行う。				
申請者	UNTRACKED 株式会社（保土ヶ谷区）	共同研究先	広島県立障害者リハビリテーションセンター	交付予定額	199 万円
事業名	低分子化合物と結合するタンパク質を探索できるプロテインアレイ技術の開発				
事業内容	創薬研究開発、特に分子標的薬開発の支援を目指し、低分子化合物と結合するタンパク質を網羅的かつ鋭敏に探索できるプロテインアレイ技術の開発を検討する。				
申請者	株式会社セルフサイエンス（鶴見区）	共同研究先	静岡県立大学（食品栄養科学部）	交付予定額	200 万円
事業名	非侵襲血中糖化ヘモグロビン濃度モニターを搭載したスマートリングの開発				
事業内容	肥満や糖尿病の予防を目的としたスマートリングを実現するために、血中糖化ヘモグロビン濃度を測定対象とした非侵襲光学センサーとその検量アルゴリズムを新規開発する。				
申請者	株式会社 SOXAI（中区）	共同研究先	—	交付予定額	200 万円

■大学や医療機関等が取り組む事業（7事業）

事業名	早産児の神経学的発達予測指標の確立				
事業内容	早産児の発達リスクを早期かつ簡便に予測する方法を確立するため、睡眠の成熟具合及び活動量と脳 MRI 画像との関連を研究し、予測指標の検討を行う。				
申請者	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 新生児科 下風 朋章 医師	共同研究先	—	交付予定額	100 万円
事業名	尿のリキッドバイオプシーによる小児神経芽腫の低侵襲性の診断法の開発				
事業内容	小児神経芽腫の低侵襲かつ早期発見につながる診断法開発のため、尿検体を用いて血液中に循環している微量の腫瘍由来遺伝子(ct-DNA)を検出する技術の検討を行う。				
申請者	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 臨床研究所 成戸 卓也 主任研究員	共同研究先	—	交付予定額	100 万円
事業名	AI 技術を活用した自動気管挿管装置展開事業				
事業内容	高い熟練度が必要な手技である気管挿管を、簡便・安全に実施することができる装置の開発を行う。				
申請者	学校法人聖マリアンナ医科大学 麻酔学 升森 泰 講師	共同研究先	(株)アサイ・エンジニアリング	交付予定額	100 万円
事業名	腫瘍由来血中遊離遺伝子 (ct-DNA) のバイオマーカー能の検証と、ct-DNA 解析による薬剤耐性化機序の解明				
事業内容	担癌状態では、血液中に ct-DNA が循環していることが知られている。この ct-DNA に対して、次世代型シーケンサー等を用いた詳細な遺伝子解析を行い、薬剤耐性化に係る遺伝子変化の同定を試みる。				
申請者	横浜市立大学附属市民総合医療センター がんゲノム診療科・消化器病センター内科・ゲノム検査部 杉森 慎 助教	共同研究先	横浜市立大学 (消化器内科学)	交付予定額	99 万円
事業名	肺実質の弾性計測のための B ラインエラストグラフィ法の開発				
事業内容	重症呼吸不全患者の肺線維化を患者に負荷をかけず迅速に測定するため、ベッドサイドで施行できる超音波検査を用いた新たな計測方法を開発する。				
申請者	横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 谷口 隼人 診療講師	共同研究先	群馬大学（理工学 府）、東北大学加齢 医学研究所附属非 臨床試験推進セン ター	交付予定額	100 万円
事業名	子宮筋腫の遺伝子変異を同定する非侵襲的バイオマーカーの開発				
事業内容	低エストロゲン環境下の子宮筋腫縮小を遺伝子変異から予測するため、その遺伝子変異を組織生検することなく同定可能にするイメージングバイオマーカーの開発を行う。				
申請者	横浜市立大学附属病院 産婦人科 永井 康一 助教	共同研究先	—	交付予定額	100 万円

事業名	慢性硬膜下血腫の革新的非手術治療の開発：血腫発生増大メカニズムの概念実証				
事業内容	高齢者の代表的中枢神経疾患である慢性硬膜下血腫に対する非手術治療法の開発のため、血腫増大の分子メカニズムを慢性炎症の観点から探求する。				
申請者	横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター・ 脳神経外科 高瀬 創 助教	共同研究先	Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School	交付予定額	100 万円

※ 事業名は申請書の内容に基づいて掲載しています。共同研究先は見込みも含まれます。また、正式名称は一部省略しています。

※ カテゴリごとの掲載順については、申請者名の五十音順としています。

イノベーション都市・横浜

横浜市は、平成 31 年 1 月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。「ヨコハマ・クロスオーバー (YOXO)」を旗印として、みなとみらい 21 地区の研究開発拠点や、関内地区のスタートアップなど、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。また、I・TOP 横浜と LIP 横浜の 2 つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業の IoT 及びライフイノベーションの取組を促進しています。



お問合せ先

(LIP.横浜に関すること) 経済局 産業連携推進課長 佐藤 慎一 TEL : 045-671-2574
(助成事業に関すること) 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 岩船 広 TEL : 045-502-4810

※本件は、横浜経済記者クラブにも配付しております。